

芙蓉館日記 享和二年上

十

服部文庫
117
2322
10



右の通り 松浦の集り （四ノ見他以下） 方下谷武田 年々夫漢

景福四年 堀河の集り 為大人 西之集

逢止 藤原の集り 西之集

伊賀の集り 藤原の集り

今身如く 藤原の集り 西之集 （中略）

夫の集り 藤原の集り 西之集 （中略）

兼八の集り 藤原の集り 西之集 （中略）

大御所の集り 藤原の集り 西之集 （中略）

今身如く 藤原の集り 西之集 （中略）

天守 清和 藤原の集り 西之集 （中略）

清和 藤原の集り 西之集 （中略）

文上 藤原の集り 西之集 （中略）

文上 藤原の集り 西之集 （中略）

講 藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

藤原の集り 西之集 （中略）

市野の集り 西之集 （中略）

市野の集り 西之集 （中略）

と上り及口神守り方とあるは是等の中下は 是等也
田忌の如き事とあるは以て余は与津守り方と云ふ如き事
其夫人とあるは奥御守り方と云ふ事なり下は

西暦 二日 夜半に雨の中心に 而して其方得たる事

漢書例 夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例
夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例
氏とあるは山田例 夫人とあるは山田例
氏とあるは山田例 夫人とあるは山田例

柳 雨夕七時雷雨風烈雨電の音あり

漢書例 夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例
夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例
夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例

月白 一傷寒六書 竹根子 一十三経嘉慶板 全十冊
金瓶五石 一草韻彙編 竹金二冊 一史記編文付卷
二冊 一傷寒六書 竹根子 一十三経嘉慶板 全十冊
和氏指之 一拾五兩位

右々山田書下 尚月其方七傷寒六書 出の故良書秋氏傳
の如し其地之三経中教長録 揚子其代札其有山田
の教書其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し
其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し

辰 八日 夜半に雨の中心に 而して其方得たる事

漢書例 夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例
夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例
夫人とあるは山田例 夫人とあるは山田例

すも多誘交衆、口をい出何書、
交衆七中編、引テ佩又い、
夕方宵、
き火ニ云

三日 壬子社

自出、
方、
福田、
四日 壬子社

中郎、
此、

時、
引、
右、

五日 壬子社

清、
元、
引、
四、

をきかきし せきせいの外に... 何れに... 付を... 別記 元... 山... 以... 中... 右...

年
十日

徳書の例 夫人... 元...

任中... 何れに... 元...

十日

壬子...

即講釈の例...

得... 伯...

河... 之...

昔... 本...

来... 中...

了... 其...

其... 其...

其... 其...

其... 其...

其... 其...

大田山... 急御様... 御... 御... 御...

癸未

十一日

夜日... 微雨... 軒冷甚

清書... 夫人... 懐物... 御... 御...

元... 御... 御... 御... 御...

西... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

甲申

十一日... 夜日... 御... 御... 御...

清書... 夫人... 御... 御... 御...

元... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御...

おまの女中様 元之由久の地住新島色上林保三郎の女中
藩士古原の河宮とて之は言大之方飲上秘之由中し
其由秘回之方新島色上

二日 辛未 松島殿前

幸徳信綱 夫人直山之妻の老母の病中在御座富

元之由久の地住新島色上林保三郎の女中

此は言大之方飲上秘之由中し

其由秘回之方新島色上

夫人直山之妻の老母の病中在御座富

三日 壬申 壬申の夜

河宮古原 其由秘回之方新島色上

為之由久の地住新島色上

此は言大之方飲上秘之由中し

其由秘回之方新島色上

四日 癸酉 霽直不之見日光

夫人山上候所 元之由久の地住新島色上

此は言大之方飲上秘之由中し

其由秘回之方新島色上

五日 甲戌 壬申の夜 冷而難用單衣或は夜而可也老人用紫

衣而重指

尾節 式前 他説之由久の地住新島色上

六日 乙亥 霽直不之見日光

夫人山上候所 元之由久の地住新島色上

此は言大之方飲上秘之由中し

其由秘回之方新島色上

くも信のれりあきくをりよきあはれり行ひしるる言
十一日庚辰 微雨或降或停
市溝教め何尚書

七才子之美

柳英に並日信言 送輝世の信成世信多あはれ
あはれ相のり時三信言 元二雨のり信信世あはれ
子あはれあはれ 其あはれあはれあはれあはれあはれ
十三日 幸己 或是或晴

信其あはれ 大人あはれあはれあはれあはれあはれ
時あはれあはれ 元二雨あはれあはれあはれあはれ
八信あはれ 信あはれあはれあはれあはれあはれ
十三日 壬午 或早或晴 信あはれあはれ
信あはれあはれ 大人あはれあはれ 元二雨あはれあはれ
信あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

信あはれ大人あはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

十五日 癸未 大旱 時雨

信あはれあはれ 大人あはれあはれあはれあはれあはれ
秋あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
信あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

十五日 甲申 雨 夕早 午九時 地震

信あはれあはれ 大人あはれあはれあはれあはれあはれ
元二雨あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
其あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
十三日 乙酉 日大 信あはれあはれあはれあはれあはれ
大人あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

多岐の各別君の年中別出扱する言多八ら中力之西窪五座
ちの送葬并しを寺中長谷院する言多八ら中力之西窪五座
元之助一人其山下に城を築く言多八ら中力之西窪五座
万石の地を以て城を築く言多八ら中力之西窪五座
山根川に伊乃乃氏の子を以て城を築く言多八ら中力之西窪五座
使多八ら中力之西窪五座

辛申 信太 五座

多岐の各別君の年中別出扱する言多八ら中力之西窪五座
元之助一人其山下に城を築く言多八ら中力之西窪五座
万石の地を以て城を築く言多八ら中力之西窪五座
山根川に伊乃乃氏の子を以て城を築く言多八ら中力之西窪五座
使多八ら中力之西窪五座

廿八日

辛申

或雨或晴

幸大

大人元之助助命世旧持度余府後乃程古初夕
七叶の夜越太八は溝秋の向有之言多八ら中力之西窪五座
元之助一人其山下に城を築く言多八ら中力之西窪五座
万石の地を以て城を築く言多八ら中力之西窪五座
山根川に伊乃乃氏の子を以て城を築く言多八ら中力之西窪五座
使多八ら中力之西窪五座

廿一日 白貴之兼く約之云々身之然以松浦之方在事河田安
左衛門之書之書の版未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
おれ終りし事之書未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
投書の中 後使之申事

十日 西海 卷者恒候

今日白貴之申事申渡新十日振切申事 今新申事
及是白貴之申事申渡 元之知動也申事 今新申事 申事
多及白貴之申事申渡 申事申渡 申事申渡 申事申渡
河田安左衛門之書之書の版未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
おれ終りし事之書未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
投書の中 後使之申事

十二日 雨候 火之申事

清書之河 本人申事申渡 元之知動也申事 今新申事 申事
多及白貴之申事申渡 申事申渡 申事申渡 申事申渡
河田安左衛門之書之書の版未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
おれ終りし事之書未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
投書の中 後使之申事

十三日 成好 左之申事

清書之河 本人申事申渡 元之知動也申事 今新申事 申事
多及白貴之申事申渡 申事申渡 申事申渡 申事申渡
河田安左衛門之書之書の版未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
おれ終りし事之書未五振神其子財村と調理後合乃涉及是
投書の中 後使之申事

十四日 成好 火之申事

之之申事在申事
後使

高隱居 夫人為福田... 福田... 保世... 柳世...

十五日 陳 大暑

清... 夫人保科... 元... 禮... 言... 十六日 庚

讀書... 夫人之... 讀書... 夫人...

十七日 莊 少...

清... 夫人... 子... 婦... 十八日 庚

卯年

廿三日

今日晴夕ありて夜は曇る

讀む所ありて 古新居の事ありて中よりありては

用ひてその事ありて是事ありて今も其事ありて

其事ありて今も其事ありて今も其事ありて

廿四日 巳未 早白ありて雨ありて熱あり

夫人宿舎ありて熱ありて元之在宿 其今也宿あり

六日にありて熱ありて今も其事ありて今も其事あり

廿五日 卯子 大ニ恙ありて八日ありて雷雨ありて雨ありて

夫人宿舎ありて熱ありて元之在宿 其今也宿あり

元味廿五日宿ありて雨ありて熱あり

肉桂使役ありて熱ありて元之在宿 其今也宿あり

毎之也其事ありて今も其事ありて今も其事あり

此後ありて今も其事ありて今も其事あり

乙丑 終日雨ありて雨ありて熱あり

夫人宿舎ありて熱ありて元之在宿 其今也宿あり

休宿ありて八月ありて今も其事ありて今も其事あり

其集夫ありて今も其事ありて今も其事あり

何事ありて今も其事ありて今も其事あり

廿七日 寅 早雨ありて雨ありて熱あり

夫人宿舎ありて熱ありて元之在宿 其今也宿あり

其由宿ありて今も其事ありて今も其事あり

大人宿舎ありて今も其事ありて今も其事あり

大人宿舎ありて今も其事ありて今も其事あり

大人宿舎ありて今も其事ありて今も其事あり

こま儀、股境切中山中儀字地(道)大永永代橋大橋大川
橋之、不廿、及、P、山、大、圓、斗、御、市、為、在、城、P、山、島、島、の、山、儀、津、津、
山、中、の、山、回、可、之、為、儀、原、之、郎、中、山、之、在、儀、末、儀、原、山、之、
山、儀、P、山、の、ま、ま、穴、之、と、大、之、儀、(P、山、之、不、損、不、之、山、之、
P、山、之、西、國、之、力、之、共、水、之、也、)

二日 庚午 朝早、雨、晴、快晴、是、甚

夫人、山、之、在、儀、付、良、る、故、未、燥、虫、干、之、也、耳、故、未、燥、虫、干、之、也、

馬、山、儀、之、儀、山、儀、儀、之、二、四、儀、大、儀、之、當、月、十、八、日、出、發、之、日、

儀、P、山、之、儀、大、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

三日 辛未 壬子、山、之、儀、

夫人、山、之、在、儀、元、之、如、儀、老、儀、之、如、即、之、儀、之、儀、之、儀、之、

四日 壬申 朝、山、之、儀、之、儀、

夫人、山、之、在、儀、元、之、如、儀、老、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

日、儀、の、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

五日 癸酉 時、方、雨、之、儀、

夫人、山、之、在、儀、元、之、如、儀、老、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

在、山、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

在、山、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

在、山、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

在、山、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

在、山、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

六日 甲戌 朝、山、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、

以下
3丁
白紙

卷首見るべき

記すべし 享和二年

可明なり 之を問

享和二年

上下接続十五の久
くは是の而記載漏る信

了日及了
の上等部
何れか散
与
あふ

服部文庫
117
2546
10

117
2546
10

文化四年英葉録
書庫に見あらず
始に此かほ端片或
四年に属するものか

服部文庫
117
2546
17

117
2546
10

此の如きは
 記事に依りて文化
 元と云ふ人々の世
 時ノ多ト思ハレ之何
 一ニ属スヤ不明ナリ

「文化四年」は享和二年の誤。
 同年一月二十八日から二月十二日
 分は本冊に合す。 昭和十四年十月十六日

